

ロマンロード1月第二例会議事録

平成19年1月31日(水) 午後7時～

議長：鈴木 書記：鈴木

出席者：毛塚、荒井

【報告事項】

(1) お雛さままつり

- ・旧二業見番ではお雛様の設置はできないとのこと。前回の例会で協議したとおりロマンロードとしては協力しない。

(2) 第76回リーダー等会議について

日時：2月9日(金) 19時～

場所：まちやサロン

参加者：毛塚、(鈴木)

提案事項：まち研活動発表会やまち研のあり方など継続協議事項があるので、ロマンロードからは特になし。

【協議事項】

(1) まち研活動発表会について

日時：3月23日(金)

場所：文化会館小ホール

内容：各グループの活動発表

座長＋各グループ代表によるパネルディスカッション

↓

- ・まち研の外部評価を受けるためにも、パネルディスカッションには関係団体、行政の代表に参加してもらうべき。それによって、今後のまち研のあり方もみえてくるのではないか。

<ロマンロードの発表概要>

①ロマンロードについて…活動目的：中心市街地活性化

活動分野：道路と町並みを考えるグループ

メンバー構成：20～70代 計9名

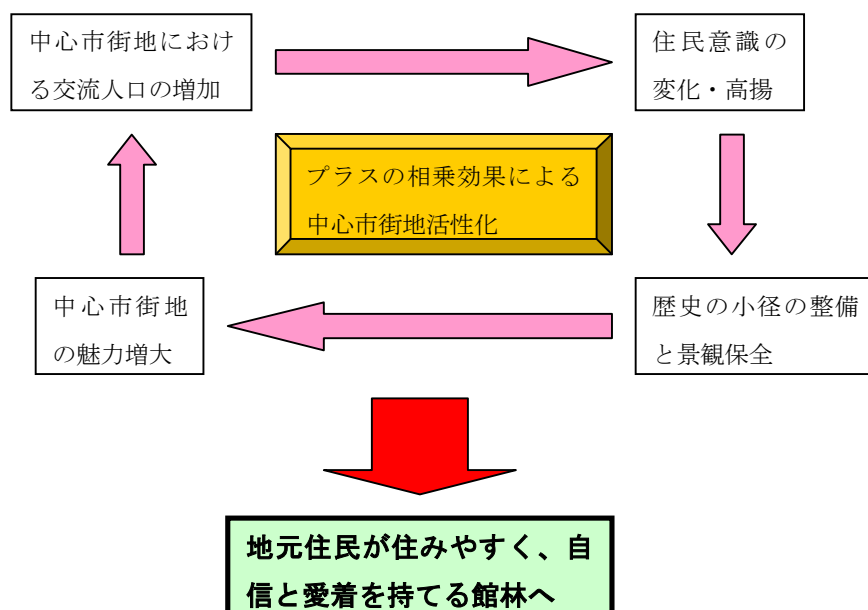
②中心市街地の現状と問題意識

【現状】モータリゼーションの進展、都市開発の郊外化・スプロール化、中心市街地の魅力喪失などにより、まちなかで歩いている人を見かけない。

⇒ “どうすれば多くに人々にまちなかを歩ってもらえるのか？”

③ロマンロードの提案

中心市街地には城下町の道筋、町屋、近代建築物など、館林の歴史を感じられる魅力的な場所・建物が数多くある。それらを結んだ「**歴史の小径**」を設定し、館林の内外問わず多くの人々に歩いてもらうこと(=交流人口の増加)により、地元住民にまちなかの魅力を再認識してもらいたい。そして住民が住みやすく、自信と愛着を持てる館林にしたい。



<具体的な4つの提案>

1) 駅前に観光案内所・案内板を設置

→訪問者のおもてなし精神

2) 案内板・石畳等による市街地整備

→連続性と統一感のある町並み

3) ウォーキングマップの作成

→観光ガイドではなく、まちなか散策のためのマップ

4) 歴史的建造物の保存・利活用

→保存のガイドラインと積極的利活用(見せるだけでは意味がない)

④活動実績

- ・まちなか散策ガイドの作成・配布
- ・まちかどお茶屋の開催(5・6月)
- ・丸太イスの作成・設置
- ・まちなか案内板の設置(外池商店、MITひろば)

- ・歴史の小径案内ポスターの作成・設置
- ・まちや塾の開催
 - 第5回「歩けるまちづくり～市民の目から」
 - 第10回「NPOがまちを変える!？」
 - 第12回「おもひで～懐かしき風景・昭和初期の館林が今ここに蘇る～」
 - 第24回「まちなか魅力探訪～茨城県真壁町・生き続ける建物～」
 - 第37回「まちなか魅力探訪～甘楽町小幡と富岡製糸場～」
- ・七夕まつり
 - 2003年：昭和初期映像「まちのニュースでございます」
 - 2004年：下町あかり工房
 - 2005・2006年：幻燈浪漫
- ・視察
 - 2004年：茨城県真壁町
 - 2006年：甘楽町小幡、富岡製糸場
- ・語り部調査隊
- ・まちなかロマン探検隊パネル展示(市役所市民ホール)
- ・タテバナシの発行(全12話)
- ・各種団体の受け入れ事業
 - まちづくり玉村塾(玉村町)、芝浦協働会館を活かす会、法政大学ACI
 - 茨城県大子町、本一・本二まちづくりの会(桐生市)、群馬県地域づくり協議会
 - 伊勢崎市、など

【次回例会】

日時：2月8日(木) 午後7時～ まちやサロン